



4) 新型コロナウイルスによって変わる日常

講座内容

新型コロナウイルスの感染拡大により、すべてのメディアがコロナ一色となった。毎日繰り返されるコロナ報道の中で確かな情報をどう伝えるか、数ある関連ニュースの中から何を取り上げるか、風評被害を生まないためにはどのように表現すればよいのかなど、報道各社の理念や方針が表に現れることとなった。一方で、国内外の移動や取材にかかる規制をはじめ、記事を生み出す環境も大きく変化した。そんな中でジャーナリズムは今、コロナによる各界への影響をどのように分析し、どのように報じているのか。また、コロナはメディアにどのような影響を与え、これからどのように変わっていくのか。ジャーナリズム論を通して、コロナ渦中の今とこれから見つめる。

講座情報

講師	開催期間	受講対象者 定員	受講料	応募期限
株式会社 西日本新聞社	11月11日～12月9日 毎週木曜日 18:30-20:00	一般 50名	一般 5,000円 (全5回分)	11月1日(月) 必着

講座責任者：西南コミュニティーセンター長 石森 久広

必要な教材

特になし。講座内で使用する教材は講師がご用意いたします。

講座形式

対面形式 ※新型コロナウイルス感染拡大の状況によっては、開講方式を変更、もしくは不開講となる場合があります。

会場：西南学院百年館(松緑館) ※都合により、予告なく会場を変更する場合があります。

コースのスケジュール

	開催日	内容・講義テーマ	
	11月11日(木)	オリエンテーション(初回講座開始10分前より)	社会連携課
1	11月11日(木)	医療現場取材から	社会部記者 齊藤 幸奈
2	11月18日(木)	コロナによる経済への影響～福岡を中心に～	経済部部長 田中 伸幸
3	11月25日(木)	コロナ禍と災害	地域報道部デスク 中川 次郎
4	12月2日(木)	コロナ禍におけるスポーツ界の対応	運動部専門委員 松田 達也
5	12月9日(木)	コロナ禍と暮らし	くらし文化部デスク 江藤 俊哉